

令和2年度 第2回大阪府立かわち野高等学校学校運営協議会 議事録

日時：令和2年 11月30日 15:30～16:50

場所：アクティブラーニングルーム

1. 参加者

委員:5名 事務局:12名

2. 内容

- ・コロナ禍における学校活動状況の報告
- ・授業見学(2つのコース授業と T-NET を活用した授業)

3. 協議

《かわち野高校の特徴と授業力の向上について》

① 生徒の学習意欲の向上、そして自尊感情をいかに育てていくか。それをテーマに、声掛けや、指導をお願いしたい。

(1)情報や英語など、いくつかの教科においては、中学からの積み重ねの要素が大きい。そのために、中学までの段階で、自尊感情を持たずにきている生徒もいると思われる。だからこそ、学習意欲を向上させ、自尊感情を高めることができるような声掛けを学校全体でお願いしたい。
(委員)

(2)息子はよく学校での出来事をよく話をしてくれるが、その中で、授業についての話も聞くことがある。どの先生も授業はわかりやすいが、指導だけに傾倒している先生の授業はわかりにくい。その授業については、他の先生に聞きに行っている、と言っていた。
(委員)

② 生徒が授業に取り組めるような様々な努力が、授業見学の中でも見えた。

(1)英語は中学からの積み重ねの要素が大きいため、英語が苦手な生徒もいる。

その中で、T-NETの活用や、ゲーム性を持たせての授業展開など、生徒が前向きに取り組めるような活動を実践していて、非常に良いと感じた。
(委員)

(2)障がい者スポーツを授業で取り組んでいることは、他にも紹介したい内容だった。
(委員)

(3)障がい者スポーツは運動量が少ないが、その中でも積極的に取り組ませるのはすごいことだ。
(委員)

(4)障がい者スポーツを実技だけでなく、座学などでも取り組めばよいのではないかと。
(委員)

③ 生徒の制服や頭髪を通して、きっちり指導が行き届いている点や、校内がクリーンである点など、生徒が学習に取り組める環境づくりがしっかりされている。

(1)一人ひとりを大切に、根気強く生徒と対話をしながら日々指導を行っている。

(事務局)

(2)LAN教室や廊下など、ほこりやごみがほとんどなく、非常にきれいな環境であった。生徒が学習しやすい環境づくりを熱心に行っている姿が見えた。

(委員)

④ 専門コースの方向性については、生徒が社会に出たときに必要となる能力の育成を目標とする。

(1)スポーツサイエンス専門コースは、リーダーシップの養成や、聞く側の在り方、協調性など、社会人として求められる能力の育成を行っていく。(事務局)